

レが

第366号

公民館報

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,767	世帯
人 口	3,653	人
男	1,780	人
女	1,873	人

(令和8年9月1日現在)

第33回

四賀夏まつり

2026

7月18日(土) ふるさと公園

暑さも吹き飛ばす大盛況!

毎年四賀地区いちばんのにぎわいとなる夏まつり。今年も2,000人あまりの老若男女が集まり、歌や踊りの多彩なプログラムに大声援を送るなどおおいに盛り上がりしました。

途中一時雨模様となりましたが、雨も暑さもなんのその夕刻が迫るにつれ人出はどんどん増えていきました。唐揚げや焼きそば、ドーナツ、かき氷、ビールに麦茶、おもちゃなどの出店も30店ほど並び、売り切れがでるほどの繁盛ぶり。家族や友人と談笑しながら軽食を楽しみ、最後は恒例の大花火大会に歓声を上げ、熱い夏の日を締めくくりました。



3日満月



花村佑子 花とクローバー



四賀小学校金管バンド



四賀鼓龍会虚空蔵太鼓



ムムキッズ



素人のど自慢大会

第2回

第2回

素人のど自慢大会

第2回

素人のど自慢大会



リリア・オ・カ・アイナ



第2回 素人のど自慢大会



MAB



第2回 素人のど自慢大会



蟻ヶ崎高校書道部

白馬五竜高山植物園 ウォーキング

8月5日(水)、白馬五竜高山植物園へ行ってきました。

年々暑くなり、開花時期も早まっているため、時期的にたくさん種類の花を見ることはできませんでしたが、歩いて回るにはちょうどよい気候でした。

子どもの頃、不思議な響きを持つ「エーデルワイス」という花の名前に、何か心惹かれるものがあり、いつかお目にかけたいと思っていました。

いざその機会に恵まれ、ドキドキしながら対面した花壇の一角に咲くエーデルワイスは、花言葉にある「初恋の感動」というわけにはいきませんでした。それでも、ほんのり嬉しい気持ちにさせてくれました。



しがの里夏の自然体験フェス 魚つかみとふるさと体験

7月25日(土) 錦織の里にて川遊びが体験できるイベントが開催され、40名以上の親子が参加しました。

獲った魚はその場で炭火焼きにして味わいました。午後は新割りやしめ縄作りの体験を楽しみました。



中学生職場体験

7月23日(木)、松本市立会田中学校2学年、藤原結愛は四賀公民館にて職場体験学習をさせていただきました。



私は特に印象に残っている体験は、公民館で企画運営している講習会やイベントに関することです。講習会では、「手毬サークル」に参加させていただき、一緒に手毬を作りながら講師の小林先生のお話を聞かせていただきました。先生のお話では、「ここに手毬を作りに来ている人は手毬を作るために来ているのもあるけれど、みなさん、人と話すことも目的で来ているん

ですよ。」とおっしゃっていて、私は人と話ができる場を増やせるこのような講習会を開催するのは、四賀地区にとっても大切なんだということを実感しました。このような講習会やイベントでは、公民館の職員のみならず、協力しながら、はじめの企画から会場の運営、片付けまで全て行っていることに驚きました。他にも細かい作業をしながらも、いらっしゃった地域の方に温かい対応をするなど、職員の方々の素敵な人柄を感じる事ができました。貴重な体験をありがとうございました。

マレットゴルフ オープン大会



7月12日(日)に四賀マレットゴルフ夏季オープン大会が行われました。しがビューティフルパーク(すげんた公園)のマレットゴルフコース全36ホールを使用して行い、四賀在住の方なら誰でも参加できます。当日は28名の参加者がマレットゴルフを楽しみました。

四賀在住の方なら四賀公民館で用具の貸し出しをしております。皆様もぜひマレットゴルフを楽しんでみてください。



男子の部

優勝 横山 勝也
2位 岩下 守
3位 浅川 正規

女子の部

優勝 市川 美佐恵
2位 柏原 みつよ
3位 浅川 千代美

湧き水

▼「童心に返る」最近、そんな体験はありますか？この夏、子どもがカブトムシを観察したいと言いつたので、何十年ぶりのカブトムシ探しをしました。残念ながら自宅周辺にはカブトムシはいそうにないので、インターネットや知人の情報をもとに、カブトムシスポットを目指しました。▼一度カブトムシをゲットできると欲が出てくるものです。もっと大きいカブトムシを見つけない！ここからは大人の力(金)を使います。

YouTuneで調べたカブトムシトラップを作成。紫外線ライトも購入。いざ、山へ！▼気付けば夢中になっているのは子どもよりも親でした。大人になるとワクワクやドキドキが減ってくる中、純粹な気持ちで楽しめて良かったと感じています。(同じように子どもが楽しめていたかは、いささか疑問が残ります。)▼ひと夏を我が家で過ごしたカブトムシたちもそろそろ山へ返さなくてはなりません。人間の都合に付き合ってくれてありがとう、みんな。